

子育て世代の祖父母への支援とその効果に関する文献検討

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-10-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 島内, 敦子 メールアドレス: 所属:
URL	https://kobe-tokiwa.repo.nii.ac.jp/records/1092

4-B-10

子育て世代の祖父母への支援とその効果に関する文献検討

島内敦子¹⁾

2015年から開始された「健やか親子21(第二次)」では、育てにくさを感じる親に寄り添う支援を重要課題に挙げられ、地域における子育て支援の充実を試みている一方、児童虐待の増加しているうえに、妊娠中から産後にかけての自殺が増加しており、妊産婦死亡原因の1位になったと報告されている。その原因として、子育てへの不安やストレスによって起こる産褥うつが考えられている。そのため、現代における子育て世代への支援充実は急務となっている。出産後の母親の頼りは祖父母であり産後の退院先は半数以上が母方の実家であり、産後1か月までの育児の主な援助者は親である。祖父母が育児支援の重要な担い手として考えられてきたが、家庭内だけに留まっていた。一方、地域の祖父母世代が子育てを支援する問題として、家族間以外の世代を超えた関わりの希薄さや「育児」に関わることへの責任の重さを感じていることが分かっている。この中で2018年より社会全体で子育て世代を支援する試みの一つとして兵庫県では「地域祖父母モデル事業」として地域の祖父母の活用事業を薦めている。これらのことから、子育て世代の祖父母にあたる世代に対して、現在の子育て世代の抱える不安を理解し具体的な支援方法を養成する必要があると考えられる。先行研究の分析から今後の支援方法とシステム化に向けての検討を行った。

1) 保健科学部看護学科